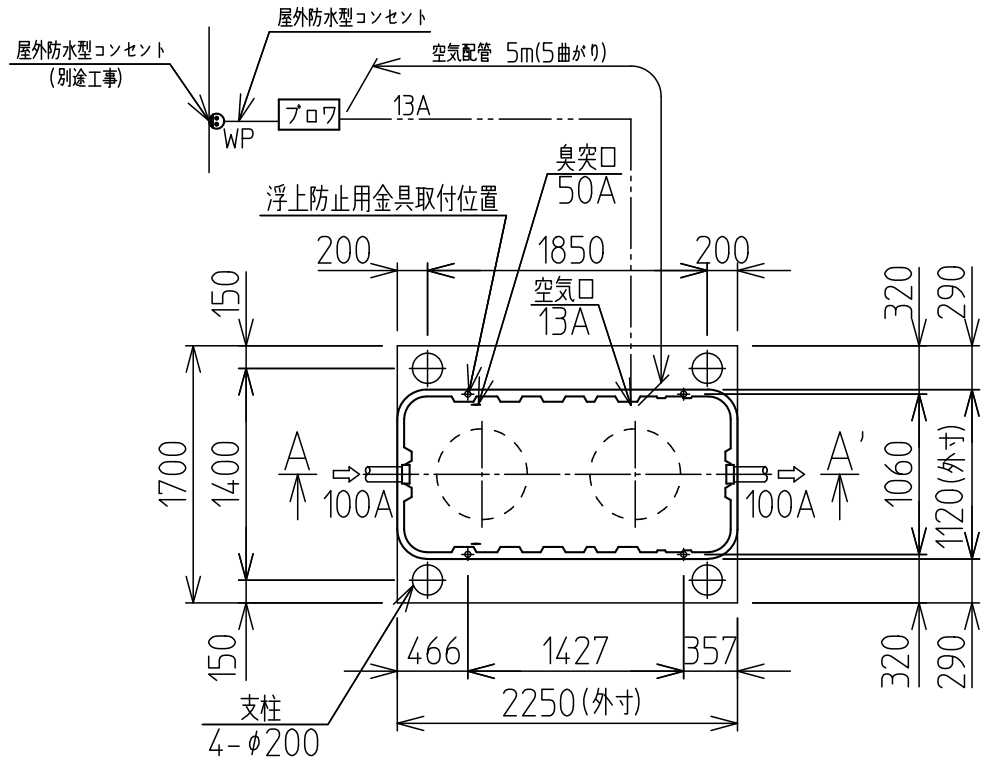
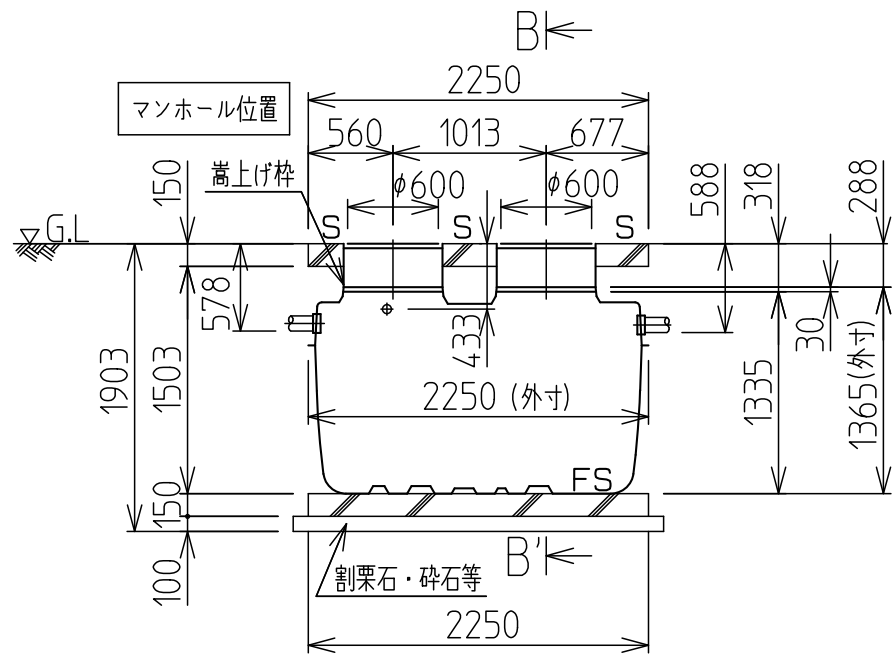
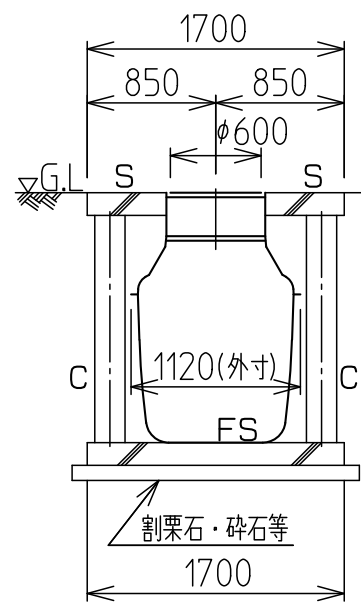




平面図

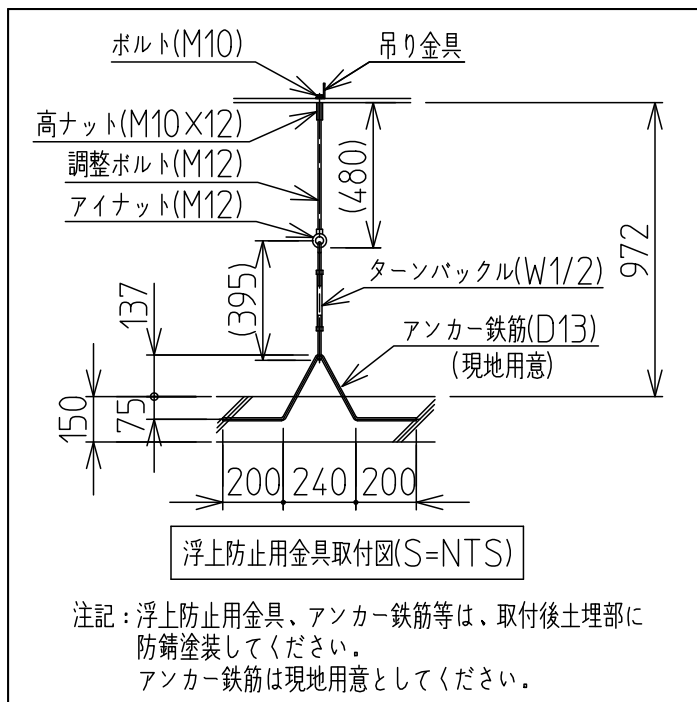


A-A'断面図



B-B'断面図

浮上防止用具



注記：浮上防止用具、アンカー鉄筋等は、取付後土埋部に防錆塗装してください。
アンカー鉄筋は現地用意としてください。

配筋仕様		仕様	
名称	版厚	記号	仕様
床スラブ	150	S	X方向 D13 @200 シングル
			Y方向 D13 @200 シングル
基礎スラブ	150	FS	X方向 D13 @200 シングル
			Y方向 D13 @200 シングル
支柱	φ200	C	主筋 4-D13 HOOP D10@100

(注記)

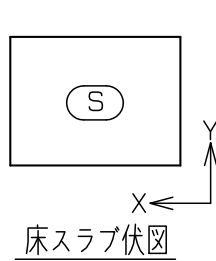
鉄筋：SD295A
コンクリート：FC=21N/mm²
開口部補強筋：各1-D13
マンホール仕様：T-2仕様、安全荷重5kN
T-6仕様、安全荷重15kN
地耐力：49.1kN/m²(5t/m²)

施工高さ範囲					
マンホール仕様	項目	嵩上げ高さ	流入管底	放流管底	施工全高
樹脂製	最小寸法	63H	G.L.-360	G.L.-370	1685H
	本図面	281H	G.L.-578	G.L.-588	1903H
	最大寸法	300H	G.L.-597	G.L.-607	1922H
鋳物製	最小寸法	38H	G.L.-360	G.L.-370	1685H
	最大寸法(本図面)	256H	G.L.-578	G.L.-588	1903H

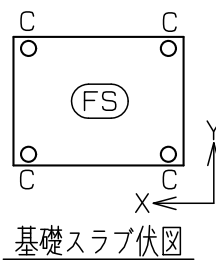
注記)

1. 本図は施工図(例)です。設置場所の状況を確認の上、工事の仕様を検討し、施工してください。
2. 本図は車両総重量2.0t以下および6.0t以下の車を通る場所に設置する浄化槽工事仕様の施工図です。
3. 積雪高さ1m以下の場所に設置してください。
4. 嵩上げ枠は現地にて高さを調整して施工ください。
5. 屋外防水コンセント(アースターミナル付)を用意してください。(別途工事)
電源の一次側には、漏電遮断器(ELB)を付けてください。
6. 流入管、流出管、臭突管、空気管(浄化槽~機器)、電気配線、電線管は現地にて用意ください。
7. プロフは仕様が異なる場合があります。
8. 地下水位が基礎スラブ上面から40cm以上の場合は、浮上防止工事を行ってください。
9. 工事前に施工要領書をお読みいただき、正しい施工を行ってください。
10. 行政等への指導がある場合は、行政等への指導に従ってください。
11. 本図は構造強度上最低限必要な寸法及び仕様としています。施工仕様の変更が必要な場合は見直してください。
12. 建築物、道路沿いおよび崖下等は、非常に大きな土圧が浄化槽にかかりますので、浄化槽を建築物等から荷重のかからない位置まで離して設置してください。離して設置できない場合は、よう壁を設けてください。

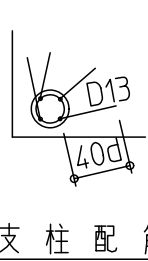
浄化槽寸法(mm)
W1120 × L2250 × H1335



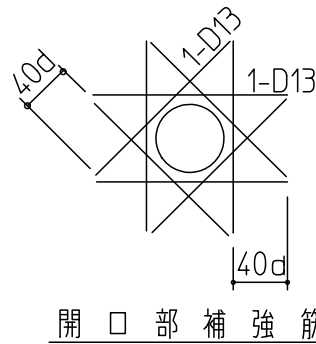
床スラブ伏図



基礎スラブ伏図



支柱配筋



開口部補強筋

製図	ヒラカワ	20-01-15	第三角法	品名	T-2・T-6仕様、深埋め300
審査	ツカモト	20-01-15	尺入	尺数	1:50
承認	ヒビノ	20-01-15	庫	尺数	1:50

株式会社 ハウステック

結城図番 YUD164772